

2010年10月19日

全国中間支援組織が取り組む「新しい公共」と「セクター形成」

NPO サポートセンター理事長／法政大学法学部教授

山岸 秀雄

1. NPO サポートセンター「小史」

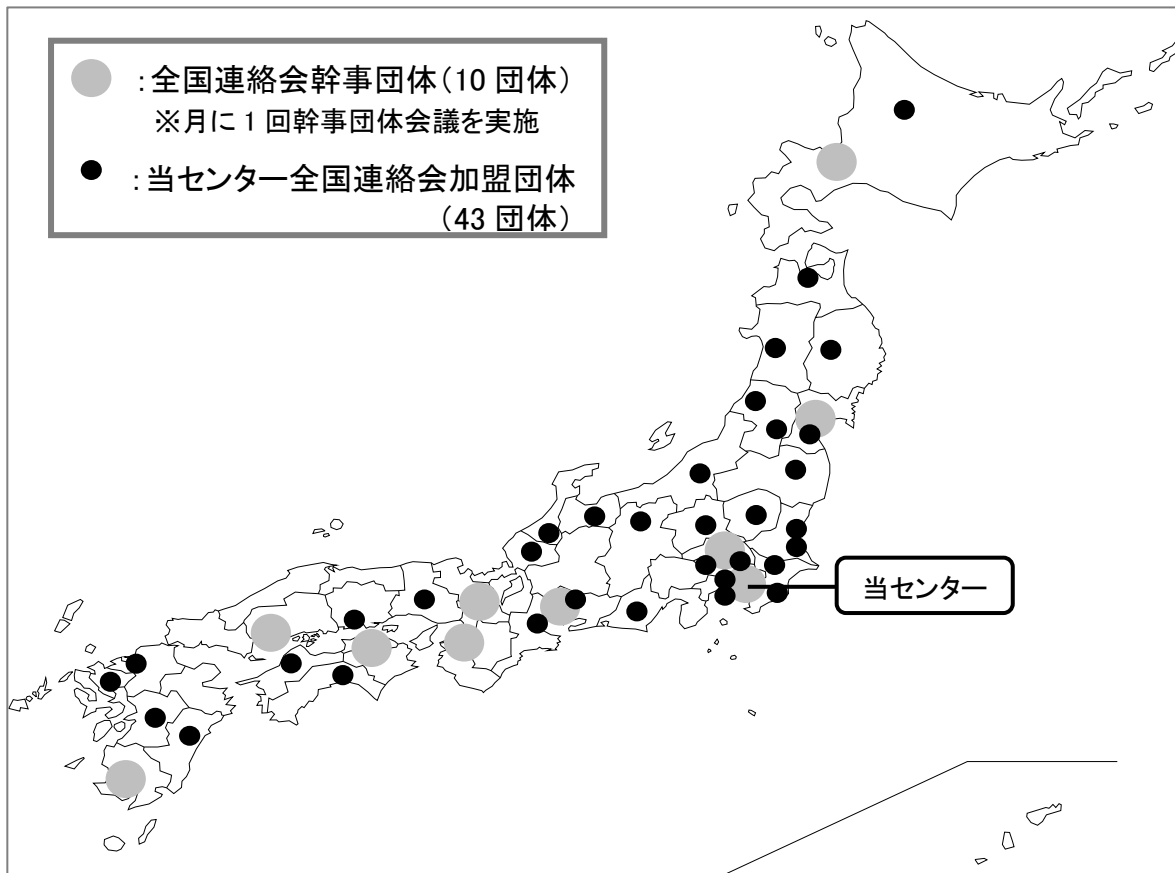
- ①1988年夏——NPO 運動の開始
- ②1993年——日本最初の中間支援組織・NPO サポートセンターが発足（銀座）
- ③1996年——NPO サポートセンター全国連絡会・発足
- ④活動の軸——政策提言、人材育成

2. 「新しい公共」のための戦略

- ①「新しいコミュニティづくり」——産官学民プラットフォーム
 - ・大学とNPOが主体となった行政、企業、NPO、大学によるプラットフォーム（舞台）、関東地方だけで10地域、40大学が参加。
 - ＜柏の葉キャンパス・プラットフォーム＞東大、千葉大、行政、NPO 支援センターちば、行政、マンション施工者の三井不動産によるプラットフォーム
 - コミュニティセンター運営を三井不動産がNPO 支援センターちばに委託
- ②「担い手づくり」——リーダー・人材育成
- ③「資金づくり」——社会戦略による社会的投資の提言
 - ・政策提言でNPO 融資の道を拓く
 - 労働金庫のNPO 融資を実現（法改正によるNPO バンクをめざした、効果拡大を再提起へ）

3. 市民セクター形成と行政との協働

- ①サードセクターの形成
 - ・NPO、労働組合、生協
 - ・公益法人の支援事業（11月に社団法人組織化）
- ②サードセクターの大学院・「研究所」の併設に向けたプロジェクト
- ③中間支援組織の強化——「協働」による「新しい公共」の拠点



【プロフィール】

山岸 秀雄 (やまぎしひでお) : 1946 年生まれ。(特活) NPO サポートセンター理事長／法政大学法学部政治学科教授、大学院兼任教授。／法政大学社会学部卒業、日本電信電話公社 (現 NTT)、(株) 第一書林社長、(株) 第一総合研究所所長、を経て現在に至る。

編著書 : 『アメリカの NPO——日本社会へのメッセージ』『NPO と行政・協働の再構築』『産官学民 NPO プラットフォーム』『イギリス非営利セクターの挑戦』『ソーシャル・エンタープライズ』他。